

Social

労働安全衛生

社会課題に対する考え方

労働災害防止、健康阻害につながる長時間労働やメンタルヘルスへの対応に加え、シニア労働者の安全・健康の確保、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策、それに伴う新たなストレス要因への対応など、労働安全衛生には多岐にわたる取り組みが求められています。アンリツグループとしても、価値創造の源となる社員の労働安全衛生環境の整備・充実を重要課題として認識しています。約4,000名の社員一人ひとりが健康に働き、活力のある職場を実現させることで生産性が向上し創造性が高まり、より良い企業活動につながると考えています。

📖 P.90 感染症対策

方針

アンリツグループは、社員一人ひとりが、その資質を最大限に発揮できるよう、社員の安全と健康を第一に、快適で生き生きと働くことができる職場環境づくりが重要であると考えています。それを実現していくために、グループ企業行動憲章やグループ行動規範に関係法令を遵守し、健康と安全に配慮した職場環境を整備することを定めています。

また、社員一人ひとりの健康保持・増進に、会社・健康保険組合それぞれの立場でより積極的に関与していくために、国内アンリツグループを対象とした「アンリツグループ健康経営方針」を定めています。

アンリツグループ健康経営方針

アンリツグループは、社員一人ひとりが健康で生き生きと働いていることが、企業価値の源泉であると考えています。全ての社員が健康について関心を持ち、自身の健康上の課題を認識し、健康保持・増進に向けて自律的な取り組みを進めている状態を目指し、アンリツグループ各社とアンリツ健康保険組合が一体となり、健康経営の実現に向けた活動を進めます。

体制

国内アンリツグループでは、アンリツ(株)の安全衛生担当役員が安全衛生の最高責任者を務め、グループ共

通の安全衛生に関する事項の決定、実施の指示を行っています。また、関係法令に準拠した安全衛生管理体制を確立しています。

定期的な職場巡視や各種健康診断・ストレスチェック後の措置、心身の健康に関する個別相談対応など、グループ社員の健康保持・増進は、アンリツ(株)健康管理室所属の複数の産業医・産業カウンセラーを中心とする産業保健スタッフによる支援体制を構築しています。

アンリツ(株)は、労使合同の安全衛生委員会を月次で開催しており、国内アンリツグループ全体で情報共有や施策などの水平展開が総合的に図られる仕組みとなっています。審議内容は、議事録とともにイントラネットで、全ての社員に速やかに開示・周知されています。

アンリツ(株)安全衛生委員会構成(2020年度)

委員長	安全管理者(人事総務部人事労務チーム部長)
副委員長	2名(うち1名はアンリツ労働組合が選出)
委員	8名(うち4名はアンリツ労働組合が選出)

上記の他、産業医、国内アンリツグループ会社社員、健康保険組合役職員、委員会事務局メンバーが参加しています。なお、アンリツ労働組合は、アンリツ(株)とユニオンショップ協定を締結している労働組合です。

アンリツ(株)は、アンリツ労働組合と締結している労働協約で、安全確保や健康保持・増進に向けた事業主の適切な措置の履行、安全衛生委員会設置と委員選出基準、教育や健診の実施、危険・有害業務の就業制限など、安全衛生に関する必要事項を規定しています。なお、国内アンリツグループの社員が従事する業務は、特定の疾病の発症率や発症リスクが高い業務に該当しません。

目標

安全に関する目標：

▶ 国内アンリツグループは、労働災害、通勤途上災害の発生ゼロを目標とする。

健康管理に関する目標：

▶ 国内アンリツグループは、2018年度から2020年度までの3カ年を計画期間とした健康経営中期計画に基づいて目標達成に向けた活動を継続する。2021年度からは下表に基づき、取り組みを継続する。

健康経営中期計画

	主要課題	KPI	2020年度	ベンチマーク	2021年度目標
1	安定的・継続的 就業や将来的な 健康維持にリス クのある層の極 小化・維持	☆糖代謝ハイリスク層比率 (空腹時血糖200mg/dl or HbA1c8.0%以上)	1.1%	2.4% (1)	2.0%以内
		☆高血圧ハイリスク層比率 (血圧180/110以上)	0.7%	1.7% (1)	1.5%以内
		メンタル休業率 (国内G期末休業者比率)	0.5%	0.8% (2)	0.8%以内
2	健康意識の高揚	☆適正体重維持者率 (BMI 18.5以上25.0未満) ※本社地区(全年齢)	64.0%	64.9% (1)	20年度 実績値の 改善
		☆運動習慣維持者率(30分/ 回以上の軽く汗をかく運動を 2回/週以上)※同上	25.1%	23.7% (1)	
		☆身体活動基準維持者率(歩 行または同程度の身体活動 を1時間/日以上)※同上	36.1%	(35.6%) (3)	
		☆生活習慣改善取り組み率 ※同上	27.6%	(24.6%) (3)	
3	健康経営の定着	◎健康経営優良法人認定	認定	—	認定継続

◎：主要KPI ☆：本社地区定期健診データを基準

(1)：経産省2018健康経営度調査参加企業平均値

(2)：厚労省H29労働安全衛生調査大企業メンタル休業者割合

(3)：健保連集計値の男性のデータ

取り組み／活動実績

安全の目標に対する結果と主な対策

2020年度は、休業災害1件、不不休災害4件が発生し、目標は達成できませんでした。休業災害は構内移動中の階段の踏み外しによるものです。

各事案については、発生後直ちに不安全行動や不安全状態などを究明するとともに、作業手順(方法)の見直しやハード対策、RA(リスクアセスメント)を実施し、再発防止の徹底に努めています。2021年度は、改めて国内アンリツグループ全体で労働災害ゼロを目指し、活動を進めています。

通勤途上災害に関しては、2020年度、国内アンリツグループ全体で不不休事案が2件発生しました。要因は歩行中の躓きによる転倒と自動車通勤中の被害事故です。新型コロナウイルス感染防止対策により在宅勤務が増加したことから発生件数は減少しましたが、歩行中や自転車(車両を含めた)運転中における一層の安全意識(危険予知)の向上に取り組めます。

国内アンリツグループ労働災害の発生状況(2020年度)

種別	件数(前年度比)
休業災害	1(-2)
不不休災害	4(+3)
通勤途上災害	2(-4)
うち 休業(1日以上)に至る通勤途上災害	0(-2)

労働災害度数率推移(100万時間当たり)



健康の目標に対する結果と主な対策

2020年度までの3カ年計画では、定期健康診断有所見率をはじめ、各種指標の維持・改善に向け活動を進めてきましたが、コロナ禍のもとでの働き方や生活環境の大きな変化が影響し、十分な改善成果を収めることができませんでした。

2021年度から2023年度までの次期中期計画では、上記指標において、特に高血糖・高血圧など生活習慣病のハイリスク層の極小化・低水準維持を重視し、社員の一層の健康保持・増進に向けた取り組みを進めていきます。

健康経営中期経営計画実績(2018~2020年度)

	主要課題	KPI	2018 年度	2019 年度	2020年度 目標	2020 年度
1	当面の安定的・継続的 就業や将来の健康維持に リスクのある層の極小化・維持	☆糖代謝有所見者比率(HbA1c 5.6以上)	43.4%	44.5%	40%以下	39.0%
		☆高血圧判定者比率(血圧140/90以上)	9.4%	9.7%	2017年度水準9.9%の維持	19.6%
		★メンタル休業率(期末時点休業者比率)	0.4%	0.4%	2017年度水準0.4%の維持	0.5%
2	定期健診有所見率改善	☆定期健診有所見率	57.9%	59.9%	59%以下	62.9%
3	健康意識の高揚	☆適正体重維持者率(40歳以上)	68.4%	67.2%	69%以上	63.7%
		☆運動習慣者比率(40歳以上)	27.0%	28.6%	28%以上	24.9%
4	健康経営の定着	健康経営優良法人認定	認定	認定	認定の継続	認定

☆:本社地区(神奈川県)の定期健診結果に基づく値 ★:国内アンリツグループ連結の値

 P.73 労働安全衛生関連数値

労働基準に関するイニシアチブへの参加

アンリツ(株)安全衛生担当役員が、2020年度から2021年度まで2年間の任期で(公社)神奈川労働安全衛生協会理事および厚木支部長を務め、県内・地域の労働安全衛生水準の向上に貢献しています。

なお、アンリツ(株)人事総務部人事労務チーム部長が、2018年度から2019年度まで(公社)神奈川労働安全衛生協会理事および厚木支部副支部長を務めました。

ISO 45001の認証取得状況

Anritsu EMEA Ltd.(英国)は2019年9月、労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格であるOHSAS18001からISO 45001へ認証の移行を完了しました。

この規格に則り、同社では安全で健康的な職場環境づくりを推進しています。



健康経営優良法人2021認定

アンリツ(株)は、経済産業省と日本健康会議が主催する「健康経営優良法人2021」において、定期健康診断・ワークライフバランス・健康増進・生活習慣予防対策・メンタルヘルス制度・施策の実施状況などが、選定基準をクリアしたことから、大規模法人部門に5年連続で認定されました。

健康経営優良法人認定制度は、健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みのもとに、優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「健康経営銘柄」のフレームワークである、①経営理念、②組織体制、③制度・施策実行、④評価・改善、⑤法令遵守・リスクマネジメントからなる5つの評価項目を用いて認定されます。



社員の健康のための働き方改革

国内アンリツグループでは、社員の健康と安全を第一に、生産性を向上させてイノベーションを起こし、企業価値向上へつなげることを目的とした働き方改革を推進しています。健康障害の原因となる長時間労働に対しては、時間外労働の削減、深夜時間勤務の極小化、定時退社日運用の徹底など、全社共通マネジメント方針に基づく労働時間適正化施策を継続的に進めています。

「長時間労働=仕事ができる」という認識はもはや過去のものであるという認識に立ち、始業時間出社の励行、19時以降原則退社とし消灯を実施、会議時間の短縮・効率化の推進などの施策を強化し、生産性向上を図っています。開発部門では、海外との時差により夜間・早朝に発生する業務において、負荷軽減のためテレワーク(在宅勤務)を導入しています。

また、新型コロナウイルス感染症対策として国内アンリツグループ全体で実施したテレワークについては、社員の健康を守るための働き方改革の施策の一つとして、継続しています。

研修・セミナーの実施

国内アンリツグループでは、労働安全衛生に関する各種研修やセミナーを毎年実施しています。2020年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、これまでの集合形式をやめ、オンラインで開催可能な教育と屋外での研修会に絞って実施しました。また、それ以外の専門教育は、Webでの受講ができない部門を想定し、感染者数が

減少した時期に開催するなど柔軟に対応しました。

注力したのは、テレワーク中の社員の健康維持です。2020年4月と2021年1月に緊急事態宣言が政府より発出され、出社率の削減目標値が示されました。これに伴い、多くの社員が長期間にわたり自宅での勤務となり、新たなストレスが生じています。この対策として、自宅でも聴講可能な動画コンテンツを制作し、オンラインで健康セミナーを実施しました。テーマは「テレワークが与えるストレスの原因と攻略の仕方」「新型コロナウイルス感染症によるストレスとの付き合い方」です。多くの社員からアクセスがありました。



二輪車安全運転講習会



産業医によるオンライン健康セミナー

国内アンリツグループ社員を対象とした、主なセミナー、講習、教育の実績
(2020年度) (単位：人)

教育内容		参加人数
社内 オープンセミナー	Web健康セミナー 「テレワークが与えるストレスの原因と 攻略の仕方」	575 (再生回数1,627)
	Web健康セミナー 「新型コロナウイルス感染症による ストレスとの付き合い方」	468 (再生回数1,234)
社内講習、教育	高圧ガス取扱保安教育	59
	二輪車安全運転講習	3
	新入社員安全衛生教育	56
	新入社員労働衛生教育	56

その他の労働安全衛生

● 労働安全衛生全般

- ・安全衛生委員会を通じた活動状況の確認や災害防止策の立案
- ・階層別教育やリスクアセスメントなどの目的別研修を通じた安全衛生意識の向上
- ・正社員の他、契約・パート・派遣社員に対する雇入時の労働安全衛生教育の実施

● 「安全」に重きを置いた取り組み

- ・機械設備の新規導入・移動・変更時および化学物質購入時の事前審査による災害リスク低減
- ・作業環境測定や職場巡視、防災訓練、防災教育や普通救命講習を通じた安全・安心で快適な職場づくり

● 「健康」に重きをおいた取り組み

- ・各種健康診断(定期、特殊、雇入時、海外赴任者)、ストレスチェック制度の実施とフォローアップ
- ・長時間残業者の問診票によるスクリーニングと産業医面談および健康確保措置の実施
- ・メンタルヘルスカケアを目的とする幹部職向け教育、カウンセリング